



セミナー

農業遺産の持続可能な保全とは何か？

～日本と韓国の経験から考察する～



国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)は、韓国農村振興庁国立農業科学院 (RDA) と 2018 年 1 月 から 3 年間にわたり、FAO が認定する世界農業遺産 (GIAHS) と各国が認定する国内農業遺産についての日本と韓国の比較研究プロジェクトを実施しています。

本セミナーでは、韓国の世界農業遺産の認定に尽力した RDA の金尙範氏と李應喆氏を招き、韓国における農業遺産の保全の進捗状況や課題について紹介いただくとともに、国連大学 UNU-IAS の「農村地域内外の多様な主体の連携による生物多様性の保全・活用活動のモニタリング・評価手法の開発」や Satoyama イニシアティブの社会生態学的生産ランドスケープ・シースケープ (SEPLS、日本では里山里海のこと) におけるレジリエンス指標などの研究成果を通じた世界農業遺産の持続可能な保全について意見交換を行います。

プログラム

- **開会の挨拶**
齊藤修 アカデミック・ディレクター / 学術研究官
- **発表 1 「SEPLS のレジリエンス指標を活用した農業遺産の保全、モニタリングと評価」**
イヴォーン・ユー UNU-IAS 研究員
- **発表 2 「韓国における農業遺産の保全管理のための住民活動」**
金尙範 (キム・サンボン) RDA 研究員
- **パネルディスカッション**
モデレーター 永田明 UNU-IAS アドバイザー
パネリスト 齊藤修、イヴォーン・ユー、
金尙範、李應喆 (リ・オンチョル)

2018 年 6 月 7 日 (木)

14 : 30 - 17 : 30 (受付 14 : 15 ~)

場所 :

国連大学 図書館 (2 階)

東京都渋谷区神宮前 5-53-70

主催:

国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)、韓国農村振興庁国立農業科学院(RDA)

参加は無料です。

お名前とご連絡先 (E-mail アドレスまたは電話番号) を記載のうえ、6 月 6 日 (水) 17 : 00 までに E-mail にて (yu@unu.edu) お申し込みください。